

プロバスケットボール男子Bリーグは9月29日、2シーズン目の開幕を迎えた。昨シーズン、チャンピオンシップで敗退した千葉ジェッツふなばしは、悲願の年間王者へと燃えている。地元・船橋市出身のSG/SF・原修太選手(23)に今シーズンのチームと自身の飛躍に懸ける思いや、生まれ育った地でプレーすることの意味を語ってもらった。



千葉ジェッツふなばし 原修太選手

SHUTA HARA

シーズン開幕直前インタビュー

生まれ育った千葉県に 恩返しをしたい！

© CHIBA JETS FUNABASHI/Take-1
写真は2016-17シーズン

—— Bリーグ開幕直前の8月、ユニバーシアード日本代表としてプレイされました。そこで得たものは？

原 全員が外国人選手のチームとやる機会はそのようななかったので、本当にいい経験でした。それにU-24で自分が24歳の代。一番上の代なので、中心になってできる。千葉ジェッツとはまた違った楽しみがありました。

—— 忙しいオフだったと思います。原 オフはどんなプライベートを？
海外に行きたいという思いがあ

ったんですけど、ユニバーシアードや、A代表候補に入れてもらって、オフらしいオフは過ごせなかったです。1回、チームメイトの富樫と大阪に行きました。午前中にバスケットをやって、その後、遊びに行ったのが唯一の旅行です。2人でUSJに行くと、フライング・ダイナソーに乗ったんですが、待ち時間だけで2人も疲れてしまっ。1時間いたかないか帰りました(笑)。

—— 小中学校のころから、周りの誰よりもうまかったのでしょうか？

原 いいえ。まあ、シュートは昔から自信があつて。ちょっとデカめのシュートがうまいやつ、って感じですね。プロになろうと決めたのも、大学3年の終わりに決めたので。

—— 高校3年間の最高成績は？

原 県でベスト16です。自分の1個上の代でベスト8に入っていたんですがそれ以上は全くなくて。国体選手候補にも選ばれなかったのが高。校でやめようかと思つていて。最後の試合の時に周りから、まだ続けろば？と言われたので、とりあえず

バスケットのできる大学を探して。

—— 大学は当時、関東の2部に所属していた国士館に進まれました

原 1部に行つて絶対に出られる自信がなかったので2部か3部で探そう、と。とりあえず2部のチームを見て、学校説明会の時に国士館大学が目に残まつて。ちょうど自分のポジションがいなくて1年生から出してもらつて。2年生の時に1部が上がつて、1部でプレーできたので本当にいい選択だったとは思いません。高校生の時に江戸川大学の説明

企画・取材・文 江戸川大学「yell sports 制作チーム」

江戸川大学下記ゼミ所属の学生たちが「yell sports 千葉」で企画・取材・文を担当する連載企画。
社会学部現代社会学科レジャー・スポーツマネジメントコース 広岡兼ゼミ
社会学部経営社会学科スポーツビジネスコース 小林至ゼミ
メディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科 新聞出版・文章力領域
協力：スポーツニッポン新聞社





会にも行ったんですよ。バスケの強豪校ですし。

—— そうなんですか!?

原 大学進学後、何度か試合もしましたね。江戸川大学に進学した王世博君も高校時代から知り合いです。

—— 卒業前に千葉ジェッツと契約。

プロになると思っていましたか?
原 いいえ。3年生の時、インカレで5位になって、その時に3ポイント1位に。それがちょっと自信にはなりましたが、大学3年が終わるまでは全く考えていなかったです。

—— 地元の千葉ジェッツから声が掛かった時の率直な気持ちは?

原 本当にうれしかったですね。ふなばしアリーナは地元なので、いろんな知り合いが「頑張れ」「応援している」というメッセージをくれるので、その千葉県に恩返しをするというか、責任もありますし、そういう人たちに応援されているのは、すごくうれしく思います。

—— これからのチーム、個人の目標をお願いします

原 チームとしては昨シーズン、最

後に悔しい思いをしたので、まずは天皇杯2連覇と、あとはBリーグ優勝を目指して頑張っていきたいと思っています。個人としては、60試合出場。去年はケガ(右第5中足骨不全骨折)をしてしまって20試合くらい出られなかったです。

—— ご自身のこんな部分を注目してほしいというのがあれば

原 まずはディフェンスとリバウンドを頑張りたいと思っていますので、そこを見てもらって。あとは、シュートですね。やはりシュートを決めるところを見てもらいたいです。



取材後記

取材日は、開幕まで1か月を切った9月上旬の練習試合の後。原選手は疲れた様子を一切見せず、終始笑顔で対応してくださいました。船橋市出身ということで江戸川大学や大学の先輩のこともご存じで、一気に親しみがわきました。それでもバスケットボールの話になると表情が一変。熱い思いを語るその姿から、原選手、そして千葉ジェッツふなばしのさらなる飛躍を確信しました。

一方で私は、初めての取材、初めてのプロ選手との対面。緊張しっぱなしでしたが、間近で見た原選手の筋肉の大きさは、ただただビックリしてしまいました。

学生記者 / 陣谷 郁香 (社会学部経営社会学科スポーツビジネスコース3年)



原 修太(はら・しゅうた) 1993年(平5)12月17日、千葉県生まれの23歳。習志野高一国士館大を経て、大学4年時の15年12月にアーリーエントリーで千葉ジェッツ入り。2016-17年シーズンはレギュラーシーズン40試合に出場した。1m87、88kg、背番号31。

© CHIBA JETS FUNABASHI/Take-1
写真は2016-17シーズン

シーズン開幕直前インタビュー 千葉ジェッツふなばし・原修太選手

